

# Information

## 医療・病院管理研究協会研修

### ■看護管理 看護の可視化と改善

日時▶11月15日(金)9:00~15:00

プログラム▶「看護の質評価・向上のためのデータマネジメント」岩澤由子(公益社団法人日本看護協会)／「改善活動推進のための業務可視化・データ活用—働き続けられる職場づくりを目指した業務効率化の取り組み」堀百合子(医療法人和同会広島シーサイド病院)／「管理指標・臨床指標の活用—200以上の指標を持つ当院の事例を紹介」相馬泰子(NTT 東日本関東病院)

### ■病院管理 事務部門の役割と機能

日時▶11月21日(木)10:00~16:15

プログラム▶「DX推進と事務部門」東瀬多美夫(一般財団法人竹田健康財団)／「持続的経営を考えた事務部門の取り組み」齋藤哲哉(社会福祉法人恩賜財団済生会支部福井県済生会、福井県済生会病院)／「これからの病院改革と事務職の役割」正木義博(社会福祉法人恩賜財団済生会神奈川県病院)

### ■病院管理 病院と経営

—これまで、そしてこれから

日時▶2025年1月16日(木)10:00~16:15

プログラム▶「地域医療を支える医療・介護連携の再構築と医療DX」島貫隆夫(地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構)／「高コスト構造の中での人材育成と病院経営」玉城和光(沖縄県立中部病院)／「これからの病院運営—地域の現状をふまえて」渡辺仁(長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院)

### 【以下、共通】

開催方法▶Zoom ウェビナーによるオンライン開催(見逃し配信あり)

参加費▶会員1万円、非会員1万3000円(会員特典あり)

参加申込方法▶下記Webサイトの申込フォーム、またはE-mail、FAXにて

問い合わせ先▶公益社団法人医療・病院管

理研究協会

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-8  
公衛ビル

☎ 03-3352-2575

FAX 03-3352-2575

✉ kenshu@byoken.com

http://byoken.com/

## 日本在宅看護学会 第14回学術集会

日時▶[現地] 11月16日(土)~17日(日)、  
[オンデマンド] 11月16日(土)9:00~30  
日(土)17:00

会場▶クロス・ウェーブ船橋(千葉県船橋市)

テーマ▶多様性がインフィニティ(∞)在宅看護

プログラム▶集会長講演「多様性と在宅看護」岩本大希(WyL株式会社、ウィル訪問看護ステーション)／シンポジウム①「栄養は全てに通ずる—これからの多様な食支援の実践」五島朋幸(ふれあい歯科ごと), 白坂蒼子(ういず・ユー白ゆり訪問看護ステーション), 鈴木瑞恵(和大学)／②「報酬改訂が向かい風でも在宅のリハは重要だ!—これからの時代の在宅リハビリテーション」張本浩平(株式会社gene), 内藤麻生(訪問リハビリテーション協会、株式会社ハナミズキ訪問看護ステーションつばみ), 糟谷明範(株式会社シンクハピネス)／③「既存の制度からはみ出たニーズを拾え!—これからのみ出しケア」関口優樹(医療法人かがやき), 菊池郁希(オレンジホームケアクリニック), 山内もも子(株式会社ぐるんどびー), 三枝春香(株式会社CNC)／④「小児在宅実践の多様性」津村明美(認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト), 川尻彩織(はぎもと助産院), 梶原厚子(株式会社スペースなる), 澤野由佳(しずく訪問看護ステーション)／⑤「プラチナナースたちから学ぶこれからの看護師人生」伊藤清子(認定NPO法人横浜こどもホスピスプロジェクト), 徳江幸代(株式会社けせら, 訪問看護ステーションけせら), 濱田安岐子(NPO法人看護職キャリアサポー

ト), 中村智子(公益社団法人東京都看護協会東京都ナースプラザ)／⑥「特定行為を在宅看護に活かす—現状と展望」橋朋絵(ゆみのハートクリニック), 田中隆司(ソフィアメディ訪問看護ステーション小竹向原), 中山法子(糖尿病ケアサポートオフィス), 勝部猛彦(社会福祉法人寿光会特別養護老人ホーム, ケアハウスりんどうの里)／⑦「精神科領域における在宅看護の可能性を多様な視点から考える」小松容子(宮城大学), 堤真紀(みのり訪問看護ステーション), 校條文(訪問看護ステーションナンナル), 加藤伸輔(ピアサポートグループ在)／⑧「多様なニーズを支える中堅スタッフへの教育支援—これからに必要な生涯学習支援」佐藤直子(聖路加国際大学大学院), 佐藤十美(セコム医療システム株式会社訪問看護ステーション), 藤野泰平(株式会社デザインケアみんなのかかりつけ訪問看護ステーション), 服部絵美(白十字訪問看護ステーション)／学術集会企画「能登半島地震での活動: DC—CATの立ち上げから現在までを通して」山岸咲美(一般社団法人コミュニティヘルス研究機構)／教育講演①「発達障害のある(かもしれない)看護職の理解と支援」川上ちひろ(岐阜大学医学教育開発研究センター)／②「患者の意思決定にどう関わるか?」尾藤誠司(慈生会野村病院)／交流集会①「見直しませんか『座りケア』—在宅看護における座位姿勢と移乗動作のアセスメント」／②「これからの日本の『地域』に必要な『居場所』とは—訪問看護を通じて気づいたこと」／③「病院から訪問看護サービスへ『看護がつながる』」／④「在宅看護のシミュレーション教育の可能性を考えてみませんか?」／⑤「日本語版オマハシステムを活用した在宅看護の実践と評価の可視化」／⑥「訪問看護の質を保証・向上するシステムづくり—みんなでとりくみませんか?」／⑦「看護師視点のものづくり—在宅医療現場での看護師の案を商品化する」／⑧「医療的ケア児の地域生活を支える多職種連携—職種垣根を超えて今こそ語り合おう」／⑨「新卒・新任看護師が育つステーションとは—『振り返り』ってどうしてますか?」／⑩「訪問看護のハラスメントの実態と対策に関して」／⑪

「在宅における栄養管理のインフィニティ(∞)」

**参加申込期間**▶～11月28日(木)12:00

**参加費**▶会員1万1000円、非会員1万3000円、学生1000円

\*学生は看護基礎教育課程のみ(看護師免許取得者は除く)、申込時「学生証」または「在学証明書」のコピーを提出要

**参加申込方法**▶下記Webサイトの参加登録ページより

**問い合わせ先**▶事務局

エイトカラース合同会社内

✉ [sanka@janhc14th.site-s.jp](mailto:sanka@janhc14th.site-s.jp)

<https://janhc14th.site-s.jp/index.html>

## 第26回日本救急看護学会 学術集会

**日時**▶[現地] 11月18日(月)～19日(火),  
[オンデマンド] 12月1日(日)～31日(火)

**会場**▶東京ビッグサイト(東京都江東区)

**テーマ**▶救急看護の進化とトランスフォーメーション

**プログラム**▶会長講演「救急看護の進化とトランスフォーメーション」佐藤憲明(日本医科大学付属病院)／特別講演①「救急医療のDX—何が課題で何から取り組むのか」森村尚登(東洋大学情報連携学術実業連携機構)／②「快適な重症患者の療養環境を探究する」野坂宜之(東京科学大学大学院), 海塩渉(東京科学大学環境・社会理工学院), 沖拓弥(東京科学大学環境・社会理工学院)／特別対談①「学会連携とトランスフォーメーション」横田裕行(日本在宅救急医学会, 日本体育大学大学院), 大友康裕(日本救急医学会, 国立病院機構災害医療センター), 山勢博彰(日本救急看護学会, 日本医科大学), 宇都宮明美(日本クリティカルケア看護学会, 関西医科大学)／②「救急・集中治療領域に求められるトランスフォーメーション—新しい時代の病院経営とデザイン」石松伸一(聖路加国際病院), 道又元裕(ヴェクソンインターナショナル株式会社), 鈴木智恵子(日本医科大学付属病院)／教育講演①「新たなデジタルヘルスがもたらす未来—データヘルスが救急医療にもたらす効果」久保

慎一郎(厚生労働省医政局)／②「最新の敗血症ガイドライン—救急医療における敗血症予防」中田孝明(千葉大学大学院)／③「院内急変対応から、急変予防に向けた活動—脚光を浴びているCCOT」藤谷茂樹(聖マリアンナ医科大学)／④「今後の日本の感染症危機管理」大曲貴夫(国立国際医療研究センター病院)／⑤「入院時重症患者対応メディエーターの導入と今後の期待」三宅康史(帝京大学)／⑥「トリアージの概念の多様性とその背景理論」櫻井淳(日本大学)／⑦「大きく変貌する脳梗塞急性期治療と医療体制」木村和美(日本医科大学大学院)／⑧「地域医療のトランスフォーメーションと救急看護への期待」川添高志(ケアプロ株式会社)／⑨「DXで進化する病院前診療」横堀将司(日本医科大学大学院)／⑩「蘇生ガイドライン2025とAED20年の進歩」坂本哲也(公立昭和病院)／⑪「シンガポール高度実践看護師から学ぶ—救急看護実践に活かそう」ZHOU Wentao(シンガポール国立大学)／シンポジウム①「救急看護ネクステージ」二瓶啓徳(済生会横浜市東部病院), 森山詠美子(島根大学医学部附属病院), 関山裕一(前橋赤十字病院), 大山太(東海大学), 苑田裕樹(令和健康科学大学)／②「RRSの構築から見た今後の課題」川原千香子(昭和大学), 峯田雅寛(山形県立中央病院), 小越優子(滋賀医科大学医学部附属病院), 五十嵐佳奈(京都第一赤十字病院)／③「救急看護における看取りを考える」渡海菜央(日本大学医学部附属板橋病院), 鎌田未来(東京ベイ・浦安市川医療センター), 辻本真由美(横浜国立大学附属市民総合医療センター), 小野澤圭子(東邦大学医療センター大森病院), 須田果穂(日本医科大学)／④「救急領域における高度実践看護師の展望」嶋田安希(大津赤十字病院), 丸林美代子(浜の町病院), 水野憲宏(日本医科大学千葉北総病院), 三宅徹(敬徳会藤原記念病院)／⑤「新興感染症に救急医療はどう対応すべきか」黒須一見(国立感染症研究所), 吉野暁子(埼玉医科大学国際医療センター), 和田孝(西濃厚生病院), 岩切由紀(神戸常盤大学), 吉次育子(神戸大学医学部附属病院)／⑥「救急医療におけるヘル

シーワークプレイスの取り組み」鈴木久美子(横浜市立大学病院), 上澤弘美(総合病院土浦協同病院), 所賀聡子(東邦大学医療センター大森病院), 村中沙織(札幌医科大学附属病院), 谷津千春(公立館林厚生病院)／⑦「救急看護の専門性を活かしたタスク・シフト／シェア」後小路隆(令和健康科学大学), 竹下智美(大分大学医学部附属病院), 北原学(国立国際医療研究センター病院), 山上浩(湘南鎌倉総合病院)／⑧「救急・集中治療室の家族面会とトランスフォーメーション」荒木尚(埼玉県立小児医療センター), 井上哲秀(レメディ・アンド・カンパニー株式会社), 加藤智子(聖隷浜松病院), 平間陽子(千葉大学医学部附属病院)／パネルディスカッション／ワークショップ／委員会主催交流集会／救急看護認定看護師による教育セミナー／ハンズオンセミナー

**参加申込期間**▶[現地] ～11月19日(火),  
[オンデマンド] 11月26日(火)～12月17日(火)

**参加費**▶[現地] 会員／会員申請中1万4000円, 非会員1万5000円, 学生2000円, [オンデマンド] 会員／会員申請中8000円, 非会員1万円, 学生2000円

\*現地参加登録者はオンデマンド配信視聴も可

\*学生は看護基礎教育課程のみ(看護師免許取得者は除く)、登録時学生証アップロード要

**参加申込方法**▶下記Webサイトの参加登録ページより

**問い合わせ先**▶事務局

〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5  
日本医科大学付属病院看護部

✉ [jaen26@jaen.academy.jp](mailto:jaen26@jaen.academy.jp)

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jaen26/top>

## 第13回日本公衆衛生 看護学会学術集会

**日時**▶[現地] 2025年1月4日(土)～5日(日), [オンデマンド] ～2月9日(日)

**会場**▶ウイंकあいち(愛知県産業労働センター)(名古屋市)

**テーマ▶**多様なパートナーとともに未来を創る公衆衛生看護

**プログラム▶**会長講演「多様なパートナーとともに未来を創る公衆衛生看護」坂本真理子（愛知医科大学）／基調講演「多様な分野とのパートナーシップは公衆衛生をどう変えていくか」尾島俊之（浜松医科大学）／特別講演「Health & Happiness を追求する Well-being への新アプローチ」武部貴則（大阪大学大学院，一般社団法人 Stellar Science Foundation）／公衆衛生看護セミナー①「親子支援の政策の変化と公衆衛生看護の役割」佐藤拓代（公益社団法人母子保健推進会議），中板育美（武蔵野大学）／②「役割を超えて自分らしく生きることを考えてみよう！」濱田安岐子（NPO 法人看護職キャリアサポート，株式会社はたらく幸せ研究所）／③「未来を“つむぐ”人づくりー要となる中堅期保健師の存在」加納恵里奈（愛知県保健医療局），山崎信人（名古屋市天白区福祉部）／④「医療現場における性感染症のリアルー公衆衛生看護の活動現場でプレコンセプションケアの視点から性感染症をどう伝えるか！」伊藤加奈子（ココカラウィメンズクリニック）／⑤「明日から使える『やさしい日本語』講座ー外国人の健康相談に活用するために」黒田友子（一般社団法人やさしいコミュニケーション協会）／シンポジウム①「誰一人取り残さない親子支援ー出生直後から始まる医療的ケア児支援」三浦清邦（愛知県医療療育総合センター中央病院，あいち医療的ケア児支援センター），家入香代（国際医療福祉大学），飯村紫帆（一般社団法人医療的ケア PPS.lab），関根公恵（みよし市こども未来部）／②「健康格差にどう向き合うかー未来を創る社会環境づくり」浅野北斗（HITOTOWA Inc.），白水洋子（特定非営利活動法人 NPO まんま），恒松秀紀（株式会社南九州ファミリーマート），藤田綾子（愛知県日進市福祉部），櫻木順子（愛知県日進市福祉部）／③「健康格差にどう向き合うかー誰も取り残さない支援をめざして」原田正樹（日本福祉大学），加藤昭宏（同朋大学），後藤文枝（東海市社会福祉協議会）／④「大規模災害時に多様なパートナーで協働するー当事者を中心に避難生活をいかに支える

か」栗田暢之（特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク JVOAD），菅野拓（大阪公立大学大学院），浅野幸子（減災と男女共同参画研修推進センター，早稲田大学地域社会と危機管理研究所），本間雅代（石川県能登北部保健福祉センター）／⑤「災害発生時に迅速に対応するための仕掛けづくりー組織縦断・横断的な働きかけと人材育成」春山早苗（自治医科大学），出口さとみ（愛知県保健医療局），有川かがり（愛知県清須保健所），水谷文美乃（愛知県西尾市健康福祉部）／⑥「しなやかにつながる地域職域連携」渡井いずみ（浜松医科大学），岡田睦美（日本産業保健師会），松浦清恵（トヨタ自動車株式会社），石黒美佳子（蒲郡市こども健康部），池田裕美（大分県福祉保健部）／⑦「“にも包括”の構築推進と地域保健への期待ー精神保健と精神福祉の違いを理解し，協働するために」岩上洋一（厚生労働省，社会福祉法人じりつ），清水裕子（埼玉県志木市役所），加藤千礼（愛知県保健医療局），渡邊貴博（鶴舞こころのクリニック）／⑧「若者の生きづらさに伴走する保健師活動の可能性」貴戸理恵（関西学院大学），大島亜友美（名古屋市教育委員会），金田文子（一般社団法人パーソナルラボ）／パネルディスカッション「未来を“つむぐ”人づくりープラチナ保健師と進める公衆衛生看護活動」佐伯和子（富山県立大学），長沼裕子（名古屋市健康福祉局），島村通子（静岡県健康福祉部）／特別企画「性的少数者 LGBTQ も利用しやすい保健サービスとは」金子典代（名古屋市立大学）／拡大市民公開講座「住民サミット in 愛知」／ほか

**参加申込期間▶**〔後期〕11月11日（月）～2025年2月9日（日）

**参加費▶**〔後期・当日会場受付〕会員1万1000円，非会員1万2000円，学生（フルタイムの院生含む）5000円

\*登録者は現地とオンデマンドの両方参加可（現地開催後の登録はオンデマンドのみ）

**参加申込方法▶**下記 Web サイトの参加登録ページより

**問い合わせ先▶**事務局

〒456-0005 愛知県名古屋市熱田区池内

町 3-21 株式会社ユピア内

☎ 052-872-8101

FAX 050-3737-7331

✉ japhn13@yupia.net

<https://japhn13.yupia.net/index.html>

\*掲載している情報は10月1日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。